

タピネット

札幌市自立支援協議会

東区地域部会

第23号 令和2年10月発行

令和2年度『ふくしまルシェ』開催中止のお知らせ

東区地域部会では、年に1回、『ふくしまルシェ』を開催し、障がいのある方、障がい福祉事業所、市民がステージ発表、福祉バザーなどで楽しみながら交流を深めてきましたが、昨今の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、今年度の開催は行わないこととしました。苦渋の決断であり、楽しみにしていた方々には大変申し訳ございませんが、ご理解のほどお願いいたします。

今回は、また盛大に開催することを検討しておりますので、ぜひ楽しみにお待ちしております。

問い合わせ 札幌市東区保健福祉課福祉支援一係 TEL 011-741-2463



TOPIC 1

新型コロナ感染対策情報

国や札幌市などでは、障害福祉サービス事業所等で働く皆さまにご確認いただきたい情報を発信しています。すでにご確認いただいているかと思いますが、以下に改めてお知らせします。

【札幌市 HP】

http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/shingata_corona/taisakugaido.html

☞管理者・サービス提供者向けの感染対策研修動画や、新型コロナウイルス感染対策に関するマニュアル等が掲載されております。

【厚生労働省 HP】

①https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

☞国民向けの情報や、政府の取り組みが掲載されております。

②https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00097.html

☞①のうち、障害福祉サービス事業所における対応等に関する情報掲載ページです。

TOPIC 2

新型コロナに関するアンケートを実施しました

東区地域部会では、区内の障がい福祉サービス事業所を対象に、新型コロナ流行に伴い困っていることなどのアンケートを7月に行いました。ご回答いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。アンケート結果については、別添のとおり、東区の事業所のみなさまへ共有させていただきます。

なお、いただいたご意見については、すでに解決されているものもありますが、現在、運営会議にて協議を行っており、課題解決に向けて取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染に関するアンケート結果報告書

札幌市自立支援協議会東区地域部会

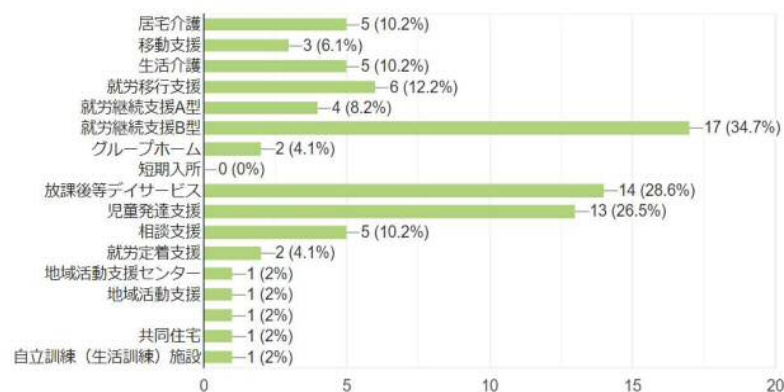
実施期間:2020年7月

対象:東区福祉事業所

事業所種別

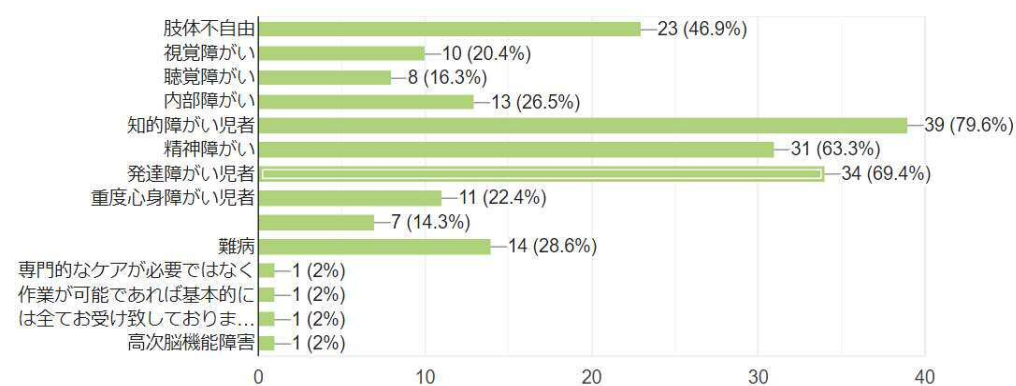
事業所の業種であてはまるもの全てを選択してください。

49 件の回答



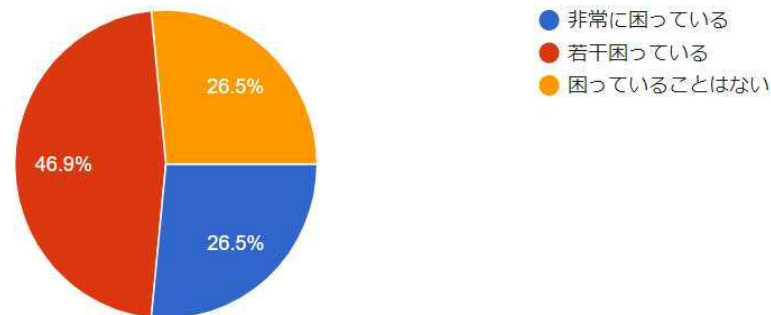
どの障がい種別の方を支援していますか。あてはまるもの全てを選択してください。

49 件の回答



新型コロナウイルスに関係し、事業所で困っていることがありますか。

49 件の回答



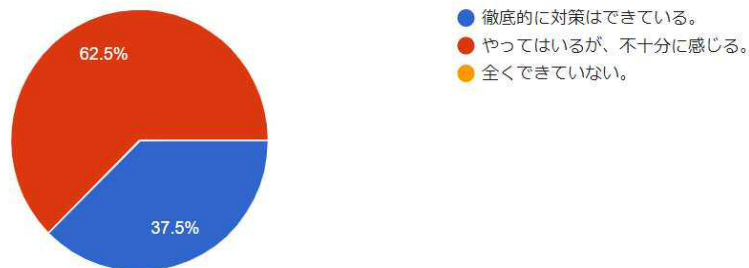
■ 記載いただいたコメント

感染予防、事業運営に関する国や地方自治体の積極的な支援が不足している
開所時期がコロナウイルスの自粛時期と被ってしまった
マスクは足りていますが、せっけん類が不足しております。
対策は行っているが、万が一コロナウイルスの感染者が出た場合の漠然的な不安
コロナウイルスにより作業収入が減少しています。下請作業に関しては、箱折りなど観光客が居ない事もあり作業がほとんどありません。クリーニングに関しても洗濯物が少なく、事業所の売り上げは前年比の半分ほどです。
就労移行が就職実績（就職後6ヵ月定着）による報酬体系となっていることから、次年度報酬減になる可能性が高まっている。新型コロナの影響で求人等の動きも明らかに減っており、（HWとも状況共有）HWへ行くこと自体も自粛していた時期がしばらくあった。今年度上半期の就職者がなかなか伸びない現状がある。その他、下請系の作業が軒並みストップしている現状があり、作業提供が一部できなくなっている。（作業収入も減っている）
A型事業所の為、仕事量が激減したことで収益が落ち込んでいる。しかし、給付金の対象まではいかない。
緊急事態宣言時には、パソコン回収率が減少していた。
三密を避けることや換気・消毒に時間がかかり、療育時間が多少なりとも減ってしまっている
感染拡大防止対策としての消毒作業や業務が増加したことや消毒作業にかかわる衛生用品や備品の確保
利用者さんの意識の低さでヘルパーが訪問に行きづらい
自粛傾向の為、活動を縮小している。就労生産活動の作業が減少しており、作業工賃への影響が出ている。
会食行為をおこなうにあたり判断。開所時間等を通常に戻す判断。現行でおこなっていることを『新しい生活様式』とするのであれば、現在の開所時間や対応を受け入れをしていくべきなのか。国としての判断が最初から非常に曖昧です。

緊急事態宣言の出ている時期に重訪の利用者さんがヘルパーを連れて不要不急で「密」状態の場所に行ってしまうこと。 在宅の利用者さんが検温や、マスクの着用に応じてくれないがどうすることもできないこと。 使い捨てマスク、プラスチックグローブが入手困難なこと。 国の各種助成金がわかりずらく、申請が難しいこと。 コロナの影響で重訪の仕事が無くなっても、ヘルパーさんが感染してない場合は休業補償がつかないこと。日中活動は国の補償があるのに訪問系に補償がないのはおかしいと思います。 生活介護に通所している利用者さんが、生活介護がコロナの影響で休業して在宅の時間が増えても重訪の支給量が足りないため、介護事業所がボランティアをしなければならなくなっているケースがあるとききました。このような緊急事態の際は、重訪の支給量を特例的に増やすべきではないでしょうか。 通院してリハビリを受けていた利用者さんが通院ができなくなったこと。代わりに訪問のリハビリは来てくれたが、リハビリの質が下がり、困っていると聞きました。
コロナによる状況の変化、学校の対応などに運営方法を都度変更していくことが大変でした。
コロナストレスが溜まっている。生産品売上額減少。
保護者を集めることができない
新型コロナの影響で、新規利用を断られることがあった。また、現在利用している方でも少しでも怪しい場合、利用中止となり、急なサービス変更が必要になった。
コロナウイルス 対策について、日々の消毒や換気、マスクをしながらの作業など
感染予防としてマスク着用、換気、所内の消毒、うがい手洗いの徹底を行っています。対象が児童のため離れて支援することは絶対に不可。
取引先企業の仕事が極度に減少しているために仕事が入ってこなくなっている。
基礎疾患利用者様が多く、支援休止もできないし、徹底した予防対策に心身極度の疲労感が職員に出てくる。
人との接触を8割抑えられなかったこと
利用者、従事者どちらがコロナになっても代替支援が提供できなくなる。
仕事量の減少。イベント等の中止により売り上げの減少。
利用者は複数の事業所を利用している。事業所間の情報の共有を密にしたい。
印刷物等の業務の発注が減っており、この状況が今年度いっぱい続く見込みです。
作業収入の減少
これまでの活動内容ではリスクを回避できないものもあり、内容の再検討。
色んな行事とかで行きたい場所に行けない
同居家族が陽性になり、障がい当事者のみが陰性で濃厚接触者となり残された場合、どうしたらいいのか。相談支援事業所にて短期入所事業所の調整をと言われているが、家族がただの熱発だとしても、現状、新規の短期入所受け入れ自体が難しい状況。
就職活動の影響、施設外就労の機会や軽作業の減少や停止、職場訪問の制限など
PCR検査をして欲しい
使い捨て手袋・食器消毒用アルコール消毒液が入手できない
作業および作業収入の減少。観光客の減少から下請け作業、特に箱折作業はほとんどなく、クリーニングにしても利用率減少。作業収入は前年比の半分。

事業所内で感染予防に関して、十分な対策はされていますか。

48 件の回答

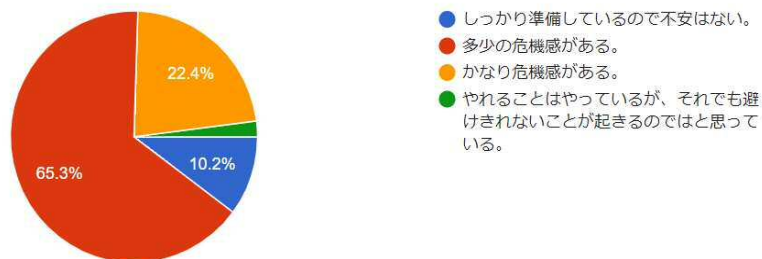


■ 記載いただいたコメント

利用者および職員の検温、マスク着用、施設や送迎車の消毒の徹底(マニュアル化)。利用者の家族や知人の感染情報の収集。
1日3回消毒・空気清浄機設置・空気の入替え等
スタッフへの周知はできているが、利用者への理解
一般的な(できる限りの)対応・対策は講じているが、限界も感じる。
仕事の場所によってマスクが出来ない。(暑い場所の為)
マスク不足
空間除菌などどこまでやるのが正解なのかわからないまま続けていることが多い
消毒に必要な人員、子どもたち一人ひとりを徹底的に消毒できているわけではなく、子どもたちの主体性に任せなければいけない面もある。
思いつくことは実施しています。
75%濃度のアルコールで施設内、送迎車両等を毎日消毒しています。
手洗い、手指アルコール消毒、昼食等の会食を中止しています。
徹底的に行うのは不可能。
職員も多く、自宅や外部先まで管理できない。
通所型のため外からの感染が不安。
感染疑いに対する不安。陽性者が出た時の動揺など、職員・家族の心理面が不安。また、会議等で対策は練っているが、感染の広がりを考えると十分な対策とは言えない。
利用者の要望に応じて事業所を開けているが、それ自体が感染のリスクがあると思います。
消毒の徹底が難しかったり、非接触型の体温計がない、トイレ等のペーパータオルに切り替えることができていない
建物の構造上動線を分けられない
広くはないので、密を避けるためにはグループ分け等に対応しているが充分では無いと考えている。
毎日検温2回。マスク着用、定期的換気、消毒

事業所において危機感を感じることはありますか。

49 件の回答



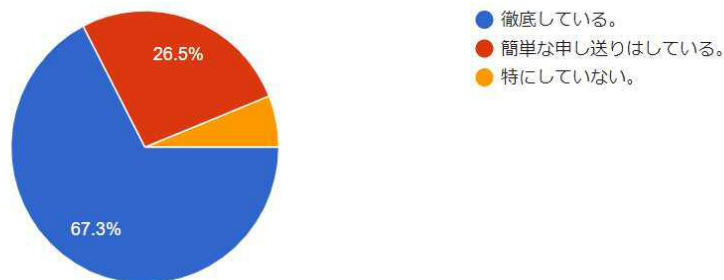
■ 記載いただいたコメント

濃厚接触者
通所施設のため外からの感染源が特定しにくい
対策していても感染することの危機感
目に見える物ではないのでどんなに対策をしてもコロナウィルスに感染してしまう事
通所事業所で一日の利用者が70名程で、交通機関を利用している方も多く、出勤時など混雑する交通機関での感染しないか心配しています。また、休日は家庭やGHでゆっくり過ごすように勧めています。街に出かける方も多く、感染に対する危機感があります。
しっかり準備をしても常に危機感を持っています。
通所の事業所ということもあり、平日通所時での多数との接触や休日の出歩きなど、(ある程度の自粛を促してはいるが)基本的には自由となっているため、いつ新型コロナウイルスが持ち込まれるかわからない。
利用者・職員全員が通勤者の為、日々地下鉄や電車、バスの利用をしている。
個別療育を行っているが、療育用教室に家族全員(3~4名)入室することがあるため、三密になってしまっている
利用者間でのソーシャルディスタンスを取るのが難しい。
集団の場は避けるよう職員には周知徹底していただけますが、利用者さんには注意喚起程度しかできないため、万が一感染した場合のことを考えます。
利用者が公共交通機関を使用するため
職員がたくさんいるわけではないので、職員に体調不良者が出た場合に利用者に迷惑がかかってしまう現状がある。
利用者様からの感染を把握できない。
感染者や濃厚接触者が出た場合、事業の継続ができなくなる可能性が高いこと。
職員の休業補償が心配です。
高熱が続いた職員が、札幌市のコロナ一般相談窓口や病院に相談してもPCR検査を受けられないこと。
コロナウィルスに感染しているかすぐに判断できる環境が整っていない。
子どもが多くなると密を避けられない場合がある。
感染に対しての危機感。感染者が出た場合の業務に対しての危機感。ほか
外部からの出入り
感染予防に努めているが、いつ・どこで・だれが感染しているかわからないこと。
一人でもコロナウィルスに感染していれば、そこから簡単に蔓延してしまう恐れがあるため、不安。
また、目に見えないウィルスのため、十分な対策を講じても蔓延してしまう可能性が否めないため
事業所外での行動、情報が入らない。

完全に感染を防ぎきることはできないと思う。
予防対策はしっかりしているが、待機部屋や広い空間がないことから
支援の必要性和緊急性をコロナ対策としての不要不急と合わせて判断しなければならず、再度の緊急事態宣言下等になると難しい判断をまたし続けなければいけない緊張感を感じる。
コロナをどこでもらってしまうか分からない。症状が出ない場合もある。完治がないから自然再発もあり得る。
売り上げの減少により工賃の減少。
自分が気を付ければのレベルを超えていることから、持ち込まないための緊張感は常にある。また、医ケアの利用者が多いことも心配である。
感染者が出て休業になることへの不安。利用者の精神的安定や事業所経営面(収入減)への不安。
作業収入減について
感染者が出た場合、その子やその家庭、利用者、スタッフへの対応
どうしても色々な方々と密集してしまう
感染者が発生した場合の管理体制
気持ちの慣れ、人の移動や会食の機会が自由になってきている
禁足は出来ないので、外出・外泊は認めている。
外出・外泊先での感染の危険性はゼロでは無いので、帰設後の手洗い・消毒は徹底しているが、やはり不安である。
交通機関で通っている方も多く、感染には警戒しています。また、利用者の方も休日、市中にでかける方も多く、日々声をかけていますがとても心配です。

感染者が出た場合の処置や対応に関して、職員等に周知が徹底されていますか。

49 件の回答

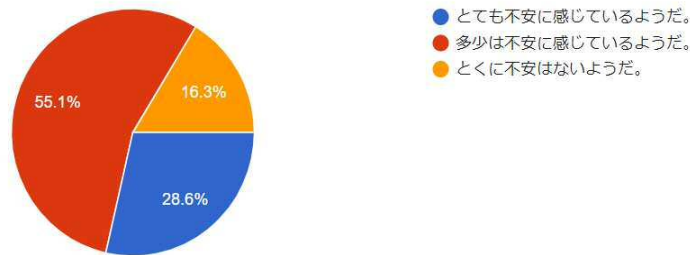


■ 記載いただいたコメント

職員とのコミュニケーション
体調の変化など常にチェックしています。(体温と風邪など最近なかった症状を常に聞いてます。)
市から発表されている情報の共有、社内研修の実施
口頭、文章、実施等の指導
1日2回検温を行い、マスク着用と館内の消毒を念入りに行ってます。
感染が疑われる者が出た場合、感染者が出た場合の対応、連絡先などは壁に張り出し常に職員全員の目に届くようにし周知している。
毎日の検温、手洗い、消毒
一度に来所する人数が少人数のため、体調確認や手洗いうがい消毒を徹底し、職員間で情報を共有するようにしている
手順など見えるところに書面で掲示しています。
職員会議等での周知。
定期的に話し合いを行い、対応策を検討している。
1時間に1回事業所内全てに消毒をして、常に換気している
いざ遭遇してみないと、口頭や文書等だけでは困難です
発熱、体調悪ければ、自宅待機
消毒と防護しかない。
新しい情報等があれば、職員だけではなく利用者にも周知をしている。
まずは、保健所の指示。事業所の一時閉鎖。多事業所、ご家族への連絡、消毒等の基本動作。感染対策プロジェクト会議による具体的対応等々。
機会あるごとに、利用者に対し、出れも感染する状況にあるので「雇った人が悪い」ではないので、ちよっでも雇ったかもしれない、雇った、家族が雇ったことをすぐに教えてください。雇った時の対応が大切であることを話しています。
対応方法を文書にて共有
感染拡大防止対策と支援実施計画を作成しスタッフに配布している
法人内の他の事業所からの職員の応援・食事の用意等の検討は済んでいる。 しかし障害の特性上、他の支援者が即対応できるかと考えると難しいと思います。
法人のマニュアルに沿って周知している。

従業者（介護従事者）が新型コロナウイルス感染症に対して不安を訴えていますか。

49 件の回答

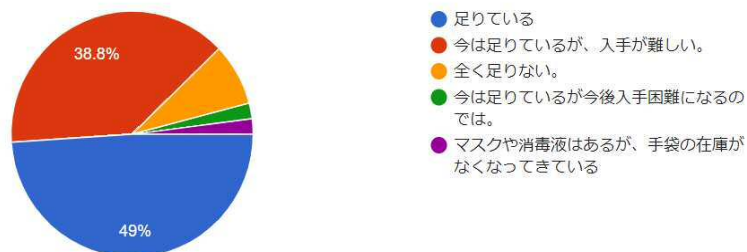


■ 記載いただいたコメント

濃厚接触の可能性
感染した時の雇用側の対応について聞かれています、基本休業補償は会社独自に定めています。
従事者の中にも高齢者がいる方やシングルマザーで子供のいる方、持病のある方は、感染したら家庭はどうなるのか？など常に不安を抱えています。
うつったら仕事が出来なくなる。死にたくないなど
ご家族へ注意喚起を促しているが、マスクの着用や来所人数など促しが伝わらないケースがある
施設外就労など、感染リスクのある場所での作業に不安を感じている様子。
自分が感染したら周りや施設運営に支障をきたす恐れがあることに不安を感じている。
常に感染する可能性と感染させる可能性。
感染した場合、他者への感染責任。仕事を失うのではないかと
自分がかかるのではないかとかかっていた場合、うつしてしまうのではないかと
休んでしまった場合の休業補償など
自分がうつしてしまうのではないかと...
感染予防に関してできるだけ完全を目指すためにはどうするのが良いのか
外部ヘルプの要請に対し、病院やリスクの高い場所へは行きたくない
今後の見通しが見えないため
無症状だと自覚しにくい
「うつされたら」「うつしたら」どうしようといつも考えていると思います。唯の風邪なのか咳なのか判断しづらいので。
通勤時の公共交通機関の利用。
感染の持ち込み、家族への感染など。
自分が雇ったことで利用者や職員にうつしてしまうこと。事業所を休業に追い込むこと。
感染を広げない対応や、自分も感染するリスク、仕事がなくなる危機感
感染するリスク
重篤リスクのある家族がいる
感染症について素人の私達が何処まで対応できるのか不安です。
職員の中には高齢者のいる家庭やシングルマザーの家庭もあり、感染に対し不安に思っているようだ。

事業所において、マスク・消毒剤・介護用手袋等の衛生用品は足りていますか。

49件の回答

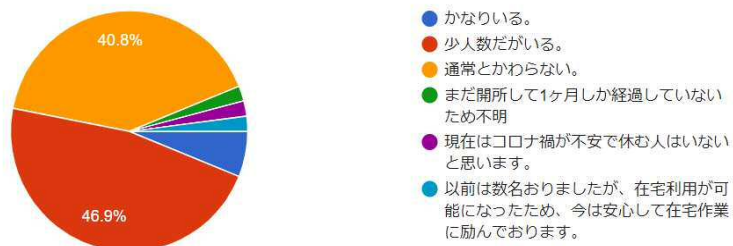


■ 記載いただいたコメント

特に子ども用
通常手に入りにくくなっているので、欲しい時に無料じゃなくて良いのでいつでも買えるように行政側の対応にほしいです。
せっけん類の不足
衛生用品では、体温計の入手が困難です。また、介護用手袋やウェットティッシュなど数購入できず困ってます。アルコール消毒も入手困難で次亜水の精製機を設置しました。
手・指用の消毒液が購入できない。あってもとても高いものだけ。
衛生用品は価格も高く、事業費への圧迫が心配される。
利用者に関しては毎回マスクをお渡しすることは困難であり、また利用者個人的にも購入を依頼するが購入しない方がいる。
またいつ品薄状態がおこるかわからないから。
ある程度は昨年秋に購入済。
秋から冬になるとまた品不足になるのではと心配
消毒等衛生、消毒用品にかかる費用の負担が大きい。
一部入手困難な消毒液や防護服等次年度に向けて貯蔵も必要だから量的に困難
現在は足りている。一時は、マスクを3日に1回の割合で取り換えるなど工夫していた。
ピーク時は入手に困ったが、今は足りているという状況
非接触型の体温計は各施設に欲しいですね
食器消毒用アルコール消毒液が入手困難です。
使い捨て手袋が高額過ぎて(以前の3倍程度の価格になっています。また店舗によっては販売していません)購入出来ません。
体温計、介護用手袋の購入が難しい。アルコール消毒液は入手できず、次亜精製器を付けた。

利用者で、感染への不安から、利用回数を減らしたり、キャンセルする方はいますか。

49 件の回答

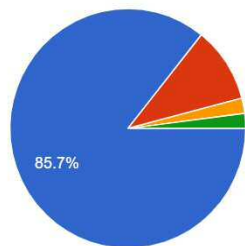


■ 記載いただいたコメント

元々休みがちな人と毎日基本通われる方と別れますが、その利用率は変わらないまでも、不安による相談件数は増えています。
保護者で高齢者がいる家庭やダウン症、心疾患などある方は自主的に休まれています。
現在は減ったが3～5月は利用を停止する方が多かった
公共交通機関を避け、送迎が必要となるケースが出ている
希望者には在宅就労をすすめている。
当事者にとってもいろいろな思いはあるようです。
3月、4月はいたが、5月からは徐々に戻りつつある
緊急事態宣言時は数人自粛していた。また、感染予防として3月から長期間自粛し7月から利用を始めた利用者もいる。
ピーク時は全キャンセルの方もいた。今は利用を再開されている。
家庭で高齢者がいる世帯や基礎疾患などがある方は自主的に休んでいる。

災害や今回のような感染症が発生した場合に備え、他の事業所との連携を普段から持ち、助け合ったり、情報を共有することは必要だと思いますか。

49 件の回答



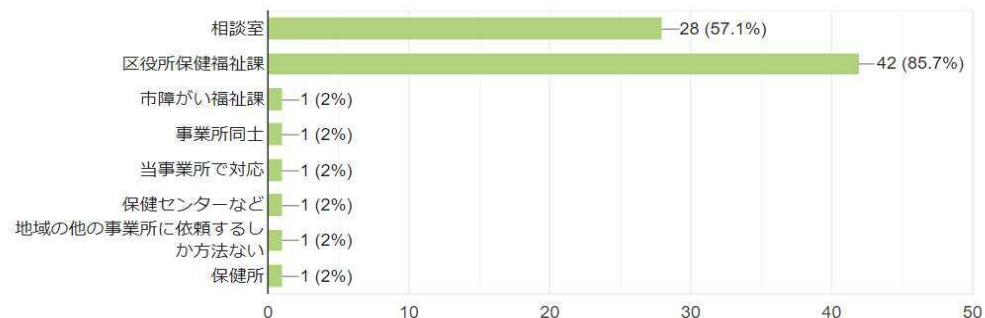
- 必要だと思う。
- 特に必要だとは思わない。
- グループで情報交換や情報共有を行なっており、その点では、自分達以外の考えも取り入れることは可能な状況にはある。
- 助け合いは必要と考えておりますが、コロナウイルスの場合、助け合うことによって二次災害などが発生してしまう危険性もあるためなんとも言えない。

■ 記載いただいたコメント

何が足りて何が足りてないか？必要と思われるところに足りてない物を貸したりできないかなど。
どの地域、どの施設で発生したかの把握
周りの状況の把握や情報が全くなかったので早い段階で連絡を取り合える環境があると良かったと感じる。
災害に関しては連携協力は不可欠と思いますが、感染症になると情報交換は重要ですが派遣など助け合いは、どこの事業所も難しいと思います。
感染者が出た場合可能な限りの情報共有。考えられる行動範囲など。
物資調達や消毒対応の業者情報などの情報共有及び提供。通所型の事業所の場合は一定期間閉鎖となると想定されるため、派遣等の協力までは想定していない。
実際にどんな状況になってどう対応したか生の声を聴きたい。
情報共有の場
感染症が発症した事業所など、併用している方がいらっしゃるときにしっかりと情報を把握したい
在宅ワークに切り替えても作業が自宅に持っていけるものがないため、内職作業など分けてほしいです。
他の事業所と情報共通することで参考になるところがあると思うから
もうすでに情報交換等している。
物品の融通、対応方法の情報収集
信頼しあいながら横の連携をとることが出来ると良いと思う
行政からのフィードバックにきめ細やかさが必要。地域の相談窓口を明確に
利用者の状況や、コロナウイルス感染症の状態など、必要性を感じる。
既存の会議や研修等を通じて繋がってれば良いと思う。
利用者に係る事業所が万一コロナが発生しても支援が出来るように「提供」できるようなシフトを作るとか。
事業所でのコロナ発生に関わる情報共有(併用通所されている方がいる可能性)
緊急時にそれぞれの事業所で出来ることを共有しておく。
複数の事業所を利用している方が多いことから、協働の必要性を感じる。
予防や感染後の対応についての情報共有や事業所が閉鎖になった時の利用者の受け入れや職員の派遣の協力体制が必要だと思います。
情報交換 事業所としての当たり前のレベルを知りたい
普段から顔の見える関係作りができれば・・・交流会や勉強会やりたいっすね
各事業所で創意工夫されている事についての情報交換。
物資の融通等
災害においては連携・協力が必要だと思う。感染症に関する情報交換なども必要。感染時の応援などこの事業所も人手不足のため難しいと思う。

利用者家族や介護者が感染した場合、支援者がいない状態の利用者について、どこに相談しますか。

49件の回答



■ 記載いただいたコメント

児童発達支援事業所は相談室を通していないケースが多い為相談を行う場所が確立されていない

相談室を利用されていないご家族は区役所。

正直な話感染者が出た場合、集中して対策に奔走するはず、時間との勝負です。

だからいつも緊張感を持たなければならない

面識のない利用者への急な支援は不可能では？

相談室から支援への発信をしていただくことを期待しています。

一人で隔離・入所が困難な入居者の支援をどうするかが課題です。

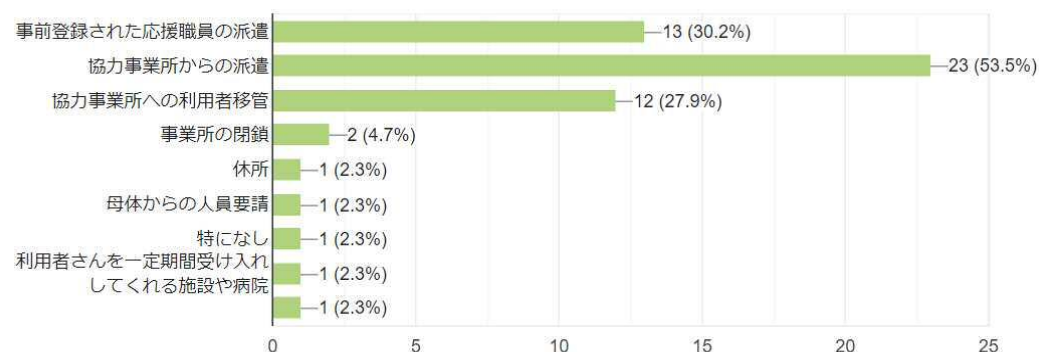
※事業所の職員、利用者、その同居家族の中で、感染疑いや感染者が発生した場合の連絡先や対応方法については、「新型コロナウイルス感染対策マニュアル」(札幌市保健福祉局発行)の34ページ及び48ページ以降に記載がありますので、ご参考としてください。

【URL(市公式HP)】

http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/shingata_corona/taisakugaido.html

事業所内で職員等に感染が発生し、福祉サービスの維持が難しくなった場合、スムーズな対応が期待できるものを選択してください。

43 件の回答



■ 記載いただいたコメント

当事者さんにもアンケートに答えれそうな人たちに、いま、福祉の現場職員に何してほしい？行政にどうしてほしいなど、私たちの意見もちろん大事ですが、やはり当事者さんたちが一番不安を抱えていると思いますので、札幌の事業者や行政が取り組むべき指標を出していけたらよいと思います。

はじめから国の対応や指針がなく、厚労省からの通達文もどうにでも解釈できるような内容であったように思う。また、当初は『感染に留意しながらできるだけ長時間の開所』といった矛盾だらけの内容であり、具体的な指示がなかった為、とても困りました。

コロナの影響でより一層ヘルパーの求職者が減っているように感じます。ヘルパーさんの待遇を年金も含めて公務員並みに保障するなど、思い切った政策を国が実施しなければ人材不足の問題は解決しなく、在宅生活をする障害者が必ず犠牲になっていくと感じます。自治体行政はもっと危機感を持って国に抗議するべきだと思います。

初めてのことなので仕方ないとしても、重度障がいの方が感染した場合、強力な病院を動かす(入院や隔離室)力が必要だと思います。そこを担保できてこそ、少しは安心できるのかな、その役割が行政だと思います。

入所施設でないで、事業所が感染源であれば、利用者は利用を控えると思います。その後のケアとして、各家族に連絡、困りごとを確認し、相談室や複数事業所と協働する。